



## ●健康な生活保護受給者の実態

★病気の受給者についてのデータはないが、健康な受給者の人間性は下劣の極み。奴らを雇う企業があるはずがない。だからこそ生活保護を受けられるのだ。そしてサラリーマンより遙かに裕福な生活。無税、医療費無料、年金支払い義務なしというオプション付。爪切りに通院するという始末。そして「使うと無くなるから、もっと必要だ」と言う。

★動物虐待者が多い。今どき、去勢避妊を受けさせない飼い主がいたら、生活保護受給者だと疑ってください。驚くほど一致する。

## ●日本沈没を救う 改善策

友人による痛快なアイデアを紹介する。皆で役所へ押しかけ「うつ病だと偽って生活保護を受けている者が沢山いるのに、なぜ、私がうつ病だと偽っても受けられないのか。平等の原則に反する」と詰め寄ったらどうか。市役所は逃げ場がなくなり改善するかも。とのこと。

★市役所の怠慢～裁量権によって改善できるのに、市は国の法律を盾にとつて変えようとしな。職責に反し、公共の福祉に反するので市職員は公務員法違反。

大きな小屋を建てて、そこへ受給者を集めて入れ、米・味噌・質素なおかずだけを与える制度に改善を。『最低の生活を営む権利』は保障される。奴らは、どんなに仲が悪くても一人では生きていけない。絶えず人との集いを求めている為、個室は必要ない。集団生活をさせると公金の節約になる。死んだらそれまで。奴らの人権を尊重していたら納税者が先に死んでしまう。不正受給が問題視されているが、不正であろうがなかろうが給付額が多すぎるのが問題。偽装福祉政党と受給者は「生活保護を受けないと死んでしまう」と言うが、お米・味噌・質素なおかずを現物支給すれば死なない。それで死ぬとしたら本人の自己管理能力の無さのせいで、制度のせいではない。

## ■生活保護の斡旋をして受給者から票をもらう偽装福祉政党

政党と生活保護受給者の利害が一致し、持ちつ持たれつ。

## ■抜本的解決策

日本人は、卑怯と偽善と拝金主義を許さない心を取り戻すべきだ。悪口と正当な批判は違う。戦後、『穏便に穏便に』という観念が根づいてしまった。悪い奴らへ生活保護を受けさせる為の外国人によるスパイ活動によるもの。正当な批判精神を失った国家は崩壊する。

- このピラを FAX する、郵送する、手渡し等を。政治家に任せきりにせずに政治参加を。
- このピラを健康な生活保護受給者へ渡して反省を促しましょう。